

高岡市女岩の植物

長井 真 隆

青木淳一・原田洋,1981.愛鷹山・天城山・箱根山のブナ林土壌のササラダニ相の比較.国立科博専報, 14,85-93.

青木淳一・原田洋・宮脇昭,1977.神奈川県下の主要自然林域における人為的影響と土壌ダニ相.横浜国大環境研紀要,3(1),121-133.

Fisher R.E.et al.,1943.The relation between the number of individuals and the number of species on a random sample of an animal population.J.Anim.Ecol.,12,42-58.

深井三郎ら,1976.立山黒部ルート周辺の地形と地質.12-70.in 中部山岳国立公園立山黒部地区学術調査報告.財団法人日本自然保護協会.富山県自然保護協会編.富山県.

原田洋・青木淳一,1978.隠岐島(島後)の異植生下土壌におけるササラダニ群集の種組成.横浜国大環境研紀要,4(1),155-164.

丸山一郎,1993.中越地方の高地ブナ林におけるササラダニの群集構造.新潟県生物教育研究会誌, 28,53-67.

大住緑子・青木淳一,1983.清里野外教育実習施設構内林における様々な植生下のササラダニ群集の比較.横浜国大教育学部野外教育実習施設研究報告,1,37-47.

佐藤卓・松村勉・小川徳重・平内好子・信清義和, 1995.立山カルデラ内に見られる主要な森林群落の構造と二次遷移について.富山の生物,34.

Tagawa H.,1964. A Study of the volcanic vegetation in Sakurajima,South-west Japan. I. Dynamics of vegetation. Mem. Fac. Sci. Kyushu Univ.,Ser.E 3,165-228.

吉田勝一,1992.奥羽山脈烏帽子岳の土壌動物群集.奥羽大歯学誌,19(4),592-599.

(1994年12月29日)

女岩は高岡市雨晴海岸の沖合約30mのところにある周囲約80m、高さ約12m、面積約400㎡の急崖な小岩礁島である。この雨晴海岸一帯は、富山湾の洋上に展開する立山連峰を遠望する景勝地として広く知られているところである。

平成6年8月12日、たまたま高岡市都市整備部の現地視察に同行する機会を得たので、ここでメモした植生の概要を報告する。この夏は雨が降らない記録的な猛暑であったが、島の植物は比較的健在であった。なお、この日の11時30分現在の雨晴海岸の気温は31.6℃、波打際の海水温は33.2℃であった。

女岩の下部は、転石が重なる岩礁部で、海が荒れると波浪に洗われ土壌はまったくなく、岩の凹凸や割れ目に岩石海岸特有のオニヤブソテツや、オニヤブマオなどがわずかに生育している。中部から上部に行くにつれて、わずかに見られる平坦部に徐々に土壌が堆積し、カモジグサ、メヒシバなどのイネ科、キジカクシ、アマドコロなどのユリ科のほか、キキョウ科のホタルブクロなどが見られる。また、ここには草本植物のほか木本植物も侵入し、よく発達している。頂上は350cm×150cm程度の長方形で、盛り土した形跡が見られる。ここには胸高直径29cmのエノキ、胸高直径15cmのクロマツ、株立ちのアキグミが単木的に生育し、一部にフジがまといつている。対岸側の岸崖にはアカメガシワ、マユミ、アキグミなどが高密度に生育している。これらの植物は他の岩石海岸と同様に潮風や乾燥に強いものである。

確認した高等植物は、19科30種で、その内訳は次のとおりである。季節をかえて調査すれば多少増加するものと思われる。

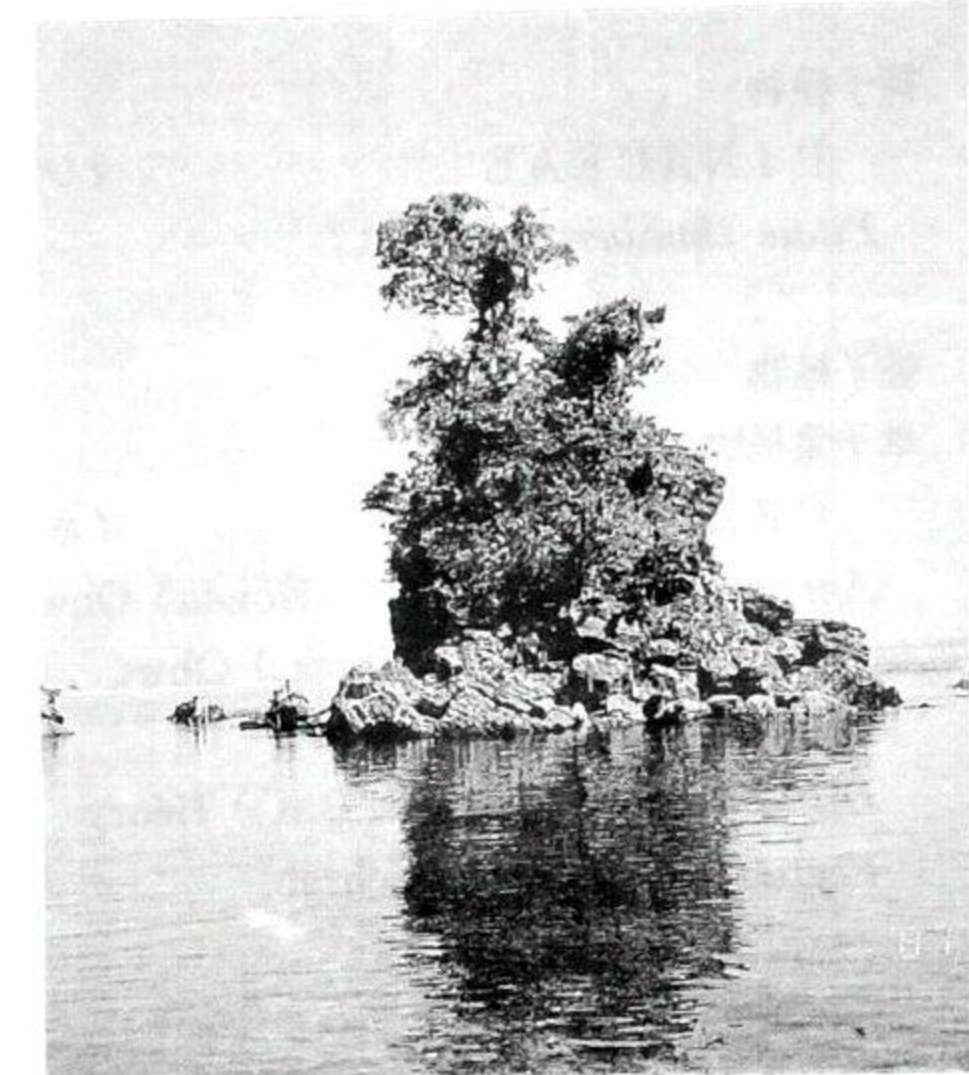


図1 対岸の雨晴海岸から見た女岩

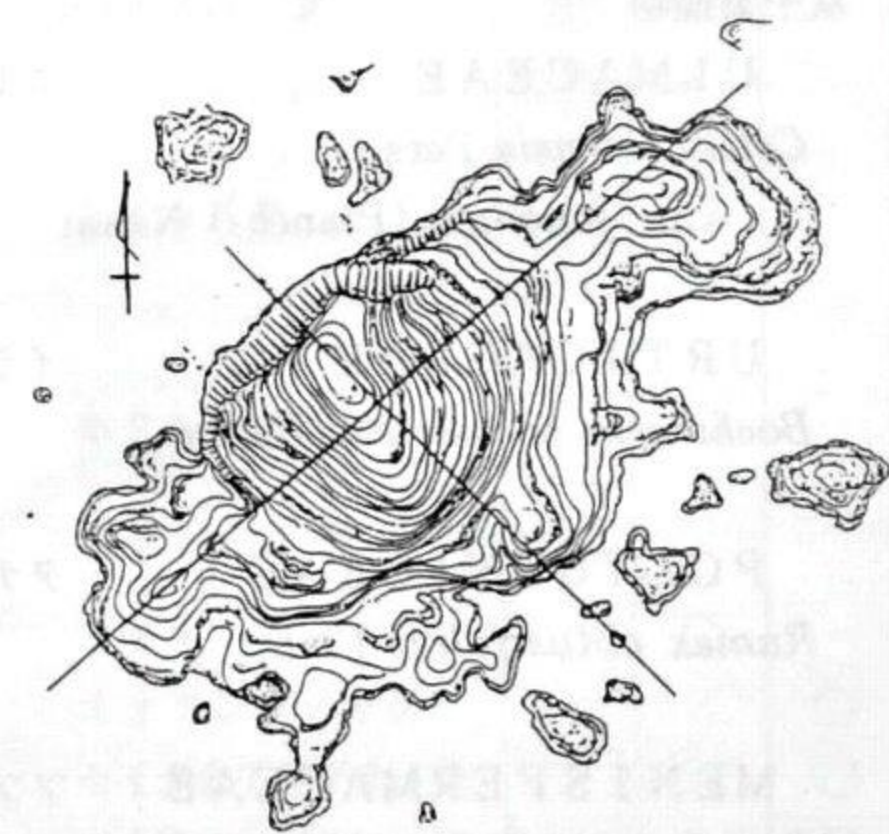


図2 女岩平面図 (S=1/400)

応用地質株式会社による(1992)

			上部	中部	下部
シダ植物					
ASPIDIACEAE	オシダ科				
<i>Cryptodium falcatum</i> (L.f.) Pr.		オニヤブソテツ			○
裸子植物					
PINACEAE	マツ科				
<i>Pinus thunbergii</i> Parlat		クロマツ	○		
被子植物					
単子葉植物					
GRAMINEAE	イネ科				
<i>Agropyron tsukushiense</i> (Honda) Ohwi				○	
var. <i>transiens</i> (Hack.) Ohwi		カモジグサ			
<i>Avena fatua</i> Linn.		カラスムギ*		○	
<i>Digitaria adsendens</i> (H.B.K.) Henry		メヒシバ*		○	
<i>Festuca arundinacea</i> Schreb.		オニウシノケグサ			○
		未同定一種			○
LILIACEAE	ユリ科				
<i>Allium grayi</i> Regel		ノビル		○	
<i>Asparagus schoberioides</i> Kunth		キジカクシ		○	
<i>Polygonatum odoratum</i> (Mill.) Druce					
var. <i>pluriflorum</i> (Miq.) Ohwi		アマドコロ		○	
双子葉植物					
ULMACEAE	ニレ科				
<i>Celtis sinensis</i> Pers.					
var. <i>japonica</i> (Planch.) Nakai		エノキ	○		
URTICACEAE	イラクサ科				
<i>Boehmeria holosericea</i> Blume		オニヤブマオ			○
POLYGONACEAE	タデ科				
<i>Rumex obtusifolius</i> Linn.		エゾノギシギシ			○
MENISPERMACEAE	ツツラフジ科				
<i>Cocculus laurifolius</i> DC.		アオツツラフシ*		○	
CRUCIFERAE	アブラナ科				
<i>Arabis stelleri</i> DC.		ハマハタザオ		○	

LEGUMINOSAE	マメ科				
<i>Wisteria floribunda</i> (Willd.) DC.		フジ			○
EUPHORBIACEAE	トウダイグサ科				
<i>Mallotus japonicus</i> (Thunb.) Muell. Arg.		アカメガシワ			○ ○
CELASTRACEAE	ニシキギ科				
<i>Euonymus fortunei</i> (Turcz.) Hand.-Mazz.					
var. <i>radicans</i> (Sieb. ex Miq.) Rehd.		ツルマサキ		○	
<i>Euonymus sieboldianus</i> Blume		マユミ			○
VITIDACEAE	ブドウ科				
<i>Ampelopsis brevipedunculata</i>					
(Maxim.) Trautv.		ノブドウ			○
<i>Vitis ficifolia</i> Bunge					
var. <i>lobata</i> (regel) Nakai		エビヅル			○
ELAEAGNACEAE	グミ科				
<i>Elaeagnus umbellata</i> Thumb.		アキグミ			○ ○
UMBELLIFERAE	セリ科				
<i>Angelica japonica</i> A. Gray		ハマウド			○
RUBIACEAE	アカネ科				
<i>Paederia scandens</i> (Lour.) Merrill					
var. <i>mairei</i> (Leveille) Hara		ヘクソカズラ			○
DAPRIFOLIACEAE	スイカズラ科				
<i>Lonicera japonica</i> Thunb.		スイカズラ			○
CAMPNULACEAE	キキョウ科				
<i>Campanula punctata</i> Lam.		ホタルブクロ			○
COMPOSITAE	キク科				
<i>Artemisia princeps</i> Pampan.		ヨモギ			○
<i>Erigeron sumatrensis</i> Retz.		オオアレチノギク			○
<i>Solidago altissima</i> Linn.		セイタカアワダチソウ			○
<i>Sonchus oleraceus</i> Linn.		ノゲシ			○

注: ○はおおよその目安で厳密な意味を持たない。
(1994年11月14日受理)